

## 「猪高緑地での自然散策会」取材してきました！

チーム名東は2008年9月13日（土）に猪高緑地で行われた自然散策会取材しました。取材したのは椋山女学園大学教育学部2年生の寺西綾乃、原田恵里と、1年生の大村理恵・森友紀の4名です。



「自然散策会」は2001年から年6回ほど開かれており、名東区の「緑地が多い」という特色を生かして、区民のみなさんに自然が残されているのを知り、自然のよさ

を感じてもらいたいという願いから続けられているものです。今回は40名ほどの区民のみなさんが参加され、4つのグループに分かれ、それぞれにスタッフが何人かつき、周りの自然を楽しみながら目的地までそれぞれのグループのペースで歩きました。

途中、スタッフの方々から、あちこちに咲いている花や草の名前や由来を教えてもらったり、蜘蛛の巣のくっつく糸とくっつかない糸の違いを実際に糸に触りながら教えてもらったり、どんぐりを拾って種類の違いについて説明を受けたり、「むかご」を採って食べたりしながら歩きました。また、大きな木の幹の中の音を聴診器で聞いてみるというはじめての経験もさせてもらえました。



今回の散策会にはアメリカ・中国・韓国からの留学生が4名参加していて、「日本の自然はすばらしい。とてもきれいです」とおっしゃっていました。また参加された女性は、「こんなに近くにこんなに素晴らしい自然が残されていることを知り驚きました。いい散歩道を教えていただいたので、今度は友達と来てみようと思います」とお話されていました。

今後も、「動物と人間の住み分け」「生物の多様性」「里山的な暮らし」をテーマに、自然散策会が続けられていく予定です。ぜひみなさんも参加してみませんか？